

(2011年7月22日収録分～7月25日配信予定)

1 週間のニュースから

◇ ピックアップ(7/15～7/22)

【震災関連】

- ◆ **【震災復興 八戸工場生産状況】**三菱製紙八戸工場、9月に生産9割へ(7/21:産経ビズ)

<http://www.sankeibiz.jp/business/news/110721/bsg1107210504007-n1.htm>

<http://release.nikkei.co.jp/detail.cfm?relID=286569&lindID=4>

三菱製紙は20日、東日本大震災で被災した八戸工場(青森県八戸市)で当初計画より最大で約2カ月前倒しし、抄紙機6台と塗抹機3台を順次、9月末までに再稼働させると発表した。同工場での印刷・情報用紙などの生産量は現在、震災前の約55%にとどまるが、再稼働後は約90%の月産6万2000トンに回復する。残る抄紙機1台の再稼働は11月中旬の見通し。

- ◆ **【復興支援 カレンダー制作】**東日本大震災:「復興支援カレンダー」凸版印刷など制作(7/21:毎日新聞)

<http://mainichi.jp/select/today/news/20110721k0000m040007000c.html>

凸版印刷などのトッパングループと日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)が、今年7月から来年1月までの復興支援カレンダー「OHAYO! CALENDAR」を共同で作った。家財を失った被災者に、仮設住宅などの新居で役立ててほしいと願い、2万部を制作した。

カレンダーは上下見開きタイプで縦51.4センチ、横36.4センチ。監修を務めたJAGDA会長の勝井三雄さんのほか、長友啓典さん、松永真さん、仲條正義さんら、国内外で活躍する著名グラフィックデザイナー・アートディレクター7氏が1点ずつ、計7カ月分の絵柄を担当。一言メッセージも添えた。

- ◆ **【復興支援 震災前の姿を残したい_写真集出版】**震災前の宮城、記録残したい 県内の広告・印刷4社、出版へ(7/15:河北新報)

<http://www.kahoku.co.jp/news/2011/07/20110715t15025.htm>

東日本大震災以前の宮城県内沿岸部の情景を記録に残そうと、仙台市の広告代理店が中心となって「みやぎの思い出写真集(仮称)」を出版する。素材となる写真は一般から広く募集。9月末に5万部を発行する計画で、1冊500円で市販するほか、自治体を通じて被災者への無償配布も予定している。

【印刷業界ニュース】

◆ 【インキ値上げ】東洋インキ、水性フレキソインキの値上げを発表(7/21:PJWebNews)

<http://www.pjl.co.jp/news/product/2011/07/2512.html>

<http://schd.toyoinkgroup.com/ja/release/2011/11072001.html>(東洋インキ)

東洋インキ(株)(山崎克己社長)は、水性フレキソインキの値上げを発表した。

対象製品は、水性フレキソインキ全製品で、値上げ幅は、1kgあたり白インキで70円、墨インキで60円、その他色インキで70円、エキステンダー・メジウムで60円、OPワニス・NSワニスで60円。

8月15日出荷分から値上げを実施する。

今回の値上げについて同社では「主原料である樹脂、顔料などの素材価格の大幅な上昇」と、「鋼材・樹脂価格の上昇による容器代の値上がり、ユーティリティーコストの上昇などによる生産コストの上昇」を理由としている。

◆ 【製紙需給速報】6月の紙・板紙出荷量3.7%減(7/21:日本経済新聞)

<http://www.jpa.gr.jp/file/summary/20110719041641-1.pdf>(日本製紙連合会速報 PDF)

日本製紙連合会が20日発表した6月の需給速報によると、紙・板紙合計の出荷量は前年同月比3.7%減の213万6千トンだった。減少幅は5月に比べて拡大。板紙は横ばいだったものの、印刷・情報用紙が4カ月連続で減少したのが響いた。

印刷・情報用紙は7%減の66万5千トンだった。上質紙など非塗工紙は10.3%減。出版社が書籍の刷り部数を減らしているほか、各種報告書もページ数が減っている。トイレ紙など衛生用紙の出荷量も5.2%減と2カ月連続で減少した。

板紙の国内出荷量は同0.6%増の93万7千トン。夏場の電力供給の制限に対応するための前倒し需要が下支えとなった。

◆ 【PODで協業】凸版印刷と国立西洋美術館など、プリントオンデマンド技術活用のミュージアムショップ活性化で協業(7/21:日経プレスリリース)

<http://release.nikkei.co.jp/detail.cfm?relID=286704&lindID=5>

独立行政法人国立美術館 国立西洋美術館(館長:青柳正規、以下 国立西洋美術館)、財団法人西洋美術振興財団(理事長:高階秀爾、以下 西洋美術振興財団)と、凸版印刷株式会社(代表取締役社長:金子真吾、以下 凸版印刷)は、プリントオンデマンド技術を活用した、来館者個々の要望に応じた幅広い品揃えのミュージアムグッズを在庫無しで迅速に提供する次世代ミュージアムショップの実現に向け、協業を本格的に開始しました。

- ◆ **【高速インクジェットデジタル印刷機】**両面で2624ページ/分！富士ゼロックスの業務用インクジェット(7/21:ASCII.jp)

<http://ascii.jp/elem/000/000/621/621147/>

<http://release.nikkei.co.jp/detail.cfm?relID=286557&lindID=4>

7月20日、富士ゼロックスはデータプリントおよび印刷市場向けインクジェットプリンター「2800 Inkjet Color Continuous Feed Printing System」を発表した。

おもに金融や生損保、証券、通信会社などの業界で発生する利用明細書／請求書など、個人の顧客に発行しているドキュメントの出力業務では、きわめて短期間に集中した大量出力が必要となる。また、個人の興味関心のある情報を通知物に付加し、購買行動の喚起を図る「バリエブル印刷」のニーズも高まっているという。今回の新製品は、インクジェットプリント方式により超高速出力が可能となり、高い生産性を実現。さらに、データプリントの信頼性をさらに高めたフルカラーバリエブル印刷により、顧客と企業間のコミュニケーション向上に貢献するという。

- ◆ **【POD市場調査報告】**矢野経済研究所、2011年度のPOD市場は2,550億円と予測(7/21:PJWeb News)

<http://www.pjl.co.jp/news/enterprise/2011/07/2515.html>

http://www.yano.co.jp/market_reports/C53107700 (矢野経済研究所)

<http://release.nikkei.co.jp/detail.cfm?relID=286558&lindID=5> (日経プレスリリース)

(株)矢野経済研究所が4月～6月に国内主要オンデマンド印刷事業者など約50社を対象に実施したオンデマンド印刷市場の調査によると、2010年度のオンデマンド印刷市場は約2,618億円(前年度比6.2%減)で、外部環境悪化により減少に転じた。広告宣伝費や経費の削減、IT化の進行ど取り巻く環境の変化が顕在化したことにより、案件数が減少、1件あたりの案件ボリュームも縮小した。

2011年度の市場規模は2,550億円の見込み。東日本大震災の影響により顧客が本業の整備に追われる中、需要は不透明であり、拡大の期待は薄い。ただ、減少の要因が外部環境によるところが大きい。

- ◆ **【医療に印刷の技】**大日本印刷 最先端医療に印刷の技(7/21:産経ビズ)

<http://www.sankeibiz.jp/business/news/110721/bsc1107210504015-n1.htm>

東京女子医科大学と早稲田大学の先端生命医科学研究機能が集結する東京都新宿区の研究施設「TWIns」の一角に、産学連携を視野に入れた大日本印刷の研究室がある。印刷技術のエレクトロニクス分野への応用で、世界シェア7割を誇る液晶ディスプレイ用反射防止フィルムなど新規の収益事業を育ててきた大日本印刷が、新たな応用分野として次代の経営の柱と期待しているのがライフサイエンス事業だ。

- ◆ **【凸版グループ 食品安全システム規格取得】**トッパングループ、嵐山工場で食品安全システム規格「FSSC 22000」認証を取得(7/20:日経プレスリリース)

<http://release.nikkei.co.jp/detail.cfm?relID=286585&lindID=4>

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾、以下 凸版印刷)は、凸版印刷のパッケージ関連生産子会社である株式会社トッパンパッケージングサービス(本社:東京都台東区、代表取締役社長:田口晃宏、以下 TPS)の嵐山工場(所在地:埼玉県比企郡)において、食品安全システム規格であるFSSC 22000認証を、2011年6月17日に取得しました。本工場では、食品および飲料の受託包装を行っています。

FSSC 22000は、組織が安全な食品を供給するために重要な手法やポイントが集約された規格です。組織は本規格に沿って業務プロセスを構築し認証機関から毎年審査を受けることで、社内の食品安全体制をチェックし、継続的な改善・強化のきっかけとすることができます。

- ◆ **【北越紀州製紙 値上げ】**北越紀州紙、印刷・情報用紙や白板紙など値上げ=9月から10%以上(7/19:時事通信)

http://www.jiji.com/jc/c?g=ind_30&k=2011071900653

北越紀州製紙は19日、印刷・情報用紙、包装用紙、白板紙を9月21日出荷分から10%以上値上げすると発表した。値上げは約3年ぶり。原料の木材チップや重油などの燃料価格が高騰し、コスト上昇分を吸収できなくなった。

- ◆ **【王子製紙 動向】**王子紙、4~6月の営業益160億円(7/21:日本経済新聞)

<http://www.nikkei.com/news/category/article/g=96958A9C93819596E0E2E2E0858DE0E2E2E5E0E2E3E39686E3E2E2E2;at=DGXZZO0195577008122009000000>

王子製紙の2011年4~6月期の連結営業利益は160億円前後となり、ほぼ前年同期(160億円)並みだったようだ。競合他社の主力工場が東日本大震災により稼働を停止した影響などで、印刷用紙などの販売が会社計画を上回った。原燃料価格の上昇が収益を圧迫した一方、コスト削減も進めた。

売上高は6%増の3000億円強とみられる。前期に連結子会社化した旭洋紙パルプやマレーシアの板紙・段ボール大手GSペーパー・アンド・パッケージング(GSP)社などが寄与した。

震災後、国内の印刷用紙の需要は低迷したが、会社予想ほどは落ち込まなかった。一方で日本製紙グループ本社などの主力工場が被災して稼働を停止。その結果、王子紙の印刷用紙の出荷数量が想定よりも増加した。安値取引を減らしたため、販売単価は前期末より上昇傾向にある。

段ボール原紙など板紙事業は堅調に推移した。海外事業はパルプの生産・販売が市況が好調だった前年同期の反動で苦戦したが、それ以外は好調で増収となったもよう。中国の南通工場も今年から本格的に稼働を始め、増収要因となる。

◆ **【印刷技術でプリント配線】アフィット、印刷技術でプリント配線(7/21:日本経済新聞)**

印刷機械製造のアフィット(東京都日野市、海江田省三社長)はインクジェット方式や静電気を使った凝集方式で金属粒子をつなげて微細な配線などに使う印刷技術を開発した。インクジェット方式では直径がナノ(ナノは10億分の1)メートル単位の粒子をインクに溶かし、印刷と同時に溶媒を飛ばしてプリント基板などの表面に固定する。静電気方式は金属のマイクロ(マイクロは100万分の1)メートル単位の粉体を直接固定する。従来のスクリーン印刷方式に比べて、版をおこす必要がなく工程数も少なく材料の無駄を省ける。半導体メーカーと協力して製品化を目指す。

◆ **【HP DPE用大型印刷機】DPE用印刷機 日本HP、国内で本格販売(7/16:日本経済新聞)**

<http://www.nikkei.com/tech/news/article/g=96958A9C889DE1E0E0EBEBE7E1E2E3E7E2E5E0E2E3E38698E0E2E2E2;da=96958A88889DE2E0E2E5EAE5E5E2E3E7E3E0E0E2E2EBE2E2E2E2E2>

日本ヒューレット・パッカーDPE(写真の現像・焼き付け・引き伸ばし)用の大型印刷機と注文受け付け端末を国内で本格的に販売する。まず流通業者向けに販売し、ショッピングセンター内などに設置する。2012年に国内DPE向けプリンター市場の出荷台数でシェア30%を目指す。国内プリンター事業で主力とする家庭や企業向けのインクジェットプリンターは価格競争が激しくなっている。キヤノンやエプソンとのシェア争いで苦戦しており、DPE向けプリンターの拡販をテコにプリンター事業の売り上げを増やす。

年内をメドに、写真印刷の受け付けから印刷までを1台で処理するキオスク端末も投入する計画。米国で販売している機器を日本仕様で改良した。

◆ **【蓄電池搭載デジタルサイネージ】パナソニック子会社、蓄電池備えた電子看板 9月発売(7/18:日本経済新聞)**

<http://www.nikkei.com/tech/news/article/g=96958A9C889DE1E0E1EBE1EBE2E2E3E5E2E5E0E2E3E3869891E2E2E2;da=96958A88889DE2E0E2E5EAE5E5E2E3E7E3E0E0E2E2EBE2E2E2E2E2>

パナソニック子会社のピーディーシー(東京・中央)は、蓄電池を搭載した電子看板(デジタルサイネージ)システムを店舗やオフィス向けに9月から販売する。災害時に停電になっても情報発信ができ、給電のためのコンセントも備えている。東日本大震災の直後に電子看板の多くが節電のための運用自粛を余儀なくされており、防災対応を強化した新システムで新規導入を促す。蓄電池容量は1.6キロワット時と3.2キロワット時の2種類。インターネット対応の37型液晶テレビをディスプレイに使い、セットトップボックスを不要にした。消費電力は従来の電子看板システムの3分の1という。本体にテレビチューナーを搭載し、1.6キロワット時の蓄電池で停電時にテレビ映像を11時間表示できる。

システムはリース販売し、期間5年で月額2万5000円から。年間3000台の販売が目標。

◆ **【米ニュース動向】米ニュース、拡大路線頓挫 新聞縮小など戦略見直し(7/21:日本経済新聞)**

<http://www.nikkei.com/news/headline/article/g=96958A9C9381959FE0E2E2E68B8DE0E2E2E5E0E2E3E39C9CEAE2E2E2>

英日曜大衆紙を舞台にした盗聴取材問題をきっかけに、世界的な複合メディア産業として拡大してきた米ニュース・コーポレーションの足元が大きく揺らいでいる。総帥のルパート・マードック会長兼最高経営責任者(CEO)らの疑惑を追及する声が広がり、新聞事業の縮小など戦略の見直しが迫られている。

「盗聴の被害者に陳謝しながらも関与を否定した」。ニュース社が傘下に置米紙ウォール・ストリート・ジャーナル(WSJ)は 20 日、前日の英下院で証言したマードック氏の様子を大きく伝えた。英日曜紙「ニュース・オブ・ザ・ワールド」の記者らによる盗聴問題で、ニュース側が支払った代償は大きい。

犯罪被害者の少女とその家族が盗聴の対象となっていたことが明るみに出て、英国国民の批判が一気に高まった7月4日から 19 日までのニュース社の株価下落率は 12%以上に達した。わずか2週間あまりで時価総額の 13%にあたる 60 億ドルが吹き飛んだ計算だ。

事業面でも影響は広がる。英最大の日曜大衆紙として 168 年の歴史を持つワールド紙は 10 日付で廃刊。1 年がかりで進めてきた英衛星放送大手BSスカイBの完全子会社化の計画も断念した。

◆ **【インクジェット法で半導体】産総研、インクジェット法による有機TFTで従来比100倍の性能を達成(7/19:マイコミジャーナル)**

<http://journal.mycom.co.jp/news/2011/07/19/004/>

産業技術総合研究所(産総研) フレキシブルエレクトロニクス研究センターの長谷川達生 副研究センター長、山田寿一 主任研究員、峯廻洋美 産総研特別研究員らの研究グループは、新規開発のインクジェット印刷法を用いて、シート上の任意の位置に有機半導体単結晶薄膜を作製する技術を開発し、FPD などの大面積電子機器に必須である TFT の性能を、従来の印刷法による有機 TFT に比べて 100 倍以上向上させることに成功した。同成果は、英国の学術誌「Nature」(オンライン版)に掲載された。インクジェット法は、真空装置などを使わずに安価に電子回路を描画形成する技術として注目されており、プラスチックのシートを用いると、フレキシブルなデバイスの実現につながることから、研究が各所で進められている。こうしたプリンタブルエレクトロニクス技術の実現には、FPD などの大面積電子機器に必須である TFT を印刷法で作製することが必要で、しかも印刷法による TFT の性能向上が必須となっている。

【PC・携帯・ネットサービス】

- ◆ **【フェイスブック用書籍制作サービス】**フェイスブック・データ書籍化アプリを開始(7/19:時事ドットコム)

http://www.jiji.com/jc/c?g=int_30&k=2011071900186

郵便物流大手のドイツポストDHLは、フェイスブック用の新サービス「ソーシャル・メモリーズ」を開始したと発表した。このサービスでは、フェイスブック上の自分のデータを自動編集し、写真やグラフを使って思い出をまとめた書籍を作ることができる。本形式の無料のデジタル・フォトアルバムか、28ページの印刷されたハードカバー本を作成でき、本は世界中に送れる。デジタル版はオンライン本棚に整理して閲覧できる。

- ◆ **【YouTubeで日本語字幕自動表示サービス開始】**ユーチューブ、日本語字幕を自動表示 話す速度で(7/15:日本経済新聞)

<http://www.nikkei.com/news/headline/article/g=96958A9C93819696E3E7E29BEA8DE3E7E2E5E0E2E3E38698E3E2E2E2>

米グーグル傘下の動画共有サイト最大手のユーチューブは15日、動画コンテンツの音声を解析し、自動的に日本語の字幕を表示するサービスを始めた。TBSやテレビ朝日など国内の放送局は自社で配信するニュース番組に同サービスを活用する予定だ。

新サービスでは、動画の登場人物の話す速度に応じて自動で字幕を表示する「自動同期機能」を採用。50カ国語以上に対応した翻訳機能があり、日本語の動画に外国語の字幕をつけることもできる。

キーワードを入力すると、ユーチューブにアップロードされている動画内の会話を自動検索。入力した単語と同じキーワードが含まれる動画を探し出すことが可能になる。字幕の大きさや書体も変更できる。避難所や電車の中など音を出せない状況下でも番組の視聴が可能。キー局を中心とした放送局は、ニュース番組の配信で活用する考え。

- ◆ **【WindowsPhone新製品】**KDDIがウィンドウズフォン7搭載機種 日本初登場(7/16:日本経済新聞)

<http://www.nikkei.com/news/headline/article/g=96958A9C93819696E3E7E297E68DE3E7E2E5E0E2E3E38698E3E2E2E2>

KDDI(au)は8月末にも米マイクロソフト(MS)のスマートフォン(高性能携帯電話=スマホ)向け基本ソフト(OS)「ウィンドウズフォン7」を採用した新製品を発売する。ウィンドウズフォン7はMS初の本格的なスマホ向けOSで、KDDIの製品は日本での第1弾となる。MSはデータ保存などのサービスを無料で提供し、日本市場でも米アップルと米グーグルに先行されたスマホOSで巻き返しを狙う。

KDDIの新機種「IS12T」は富士通東芝モバイルコミュニケーションズが製造する。3.7型の液晶画面を搭載した防水仕様で、価格は3万~4万円の見通し。KDDIなどが月内に共同で発表する。

◆ **【スマートフォン・タブレット端末動向】**乗り換えにうれしい“全部入り”急増(7/15:日本経済新聞)

<http://www.nikkei.com/tech/business/related-article/g=96958A9C93819499E3E2E2E2808DE3E2E2E5E0E2E3E3E2E2E2E2E3;bm=96958A9C93819499E3EBE2E1E28DE3EBE2E5E0E2E3E3E2E2E2E2;p=9694E3EAE3E0E0E2E2EBE0E7EBEB>

スマートフォンとタブレット端末の新製品が相次いで登場しています。スマートフォンは機能とデザインの両面で個性豊かな特徴を持つ機種が増え、特に日本独自の機能を全て盛り込んだ“全部入り”機種の台頭が目立ちます。一方、タブレット端末は OS(基本ソフト)に Android や Windows を採用する機種が製品数を増やし、米アップルの iPad の独壇場だった市場が混戦模様になりつつあります。本連載の前編で 2011 年夏モデルのトレンドをチェックし、後編でお薦めの製品を詳しく紹介します。

◆ **【スマートフォン対応電子カルテ】**宮崎大学病院、Androidスマホ対応電子カルテでコスト削減と業務効率改善(7/21:日本経済新聞)

<http://www.nikkei.com/tech/news/article/g=96958A9C93819499E0E2E2E0858DE0E2E2E5E0E2E3E3E2E2E2E2E2;da=96958A88889DE2E4E1E2E5E0E6E2E0E7E2E6E0E2E3E2E2E2E2E2E2>

国際モダンホスピタルショウ 2011 の出展者プレゼンテーションセミナーで、「医療現場におけるスマートフォンの活用」と題し、宮崎大学 医学部附属病院 医療情報部 教授の荒木賢二氏が講演した。現在、iPad や iPhone を病院で活用する事例は多く出始めているが、同病院では 2011 年 5 月から Android スマートフォンを利用した電子カルテ・システムを本格導入。荒木氏は、従来導入していたシステムと比べたときの新システムのコスト削減や業務効率改善の効果などについて語った。ホスピタルショウは 2011 年 7 月 13～15 日に東京ビッグサイトで開催された。

◆ **【文書の一元管理アプリ】**米Scribdがデジタルニューススタンド「Float」、iPhoneアプリを公開(7/21:日本経済新聞)

<http://www.nikkei.com/tech/business/article/g=96958A9C93819499E0E2E2E08B8DE0E2E2E5E0E2E3E3E2E2E2E2E2;p=9694E3EAE3E0E0E2E2EBE0E7EBEB>

文書共有サイト「Scribd」を運営する米 Scribd は現地時間 2011 年 7 月 19 日、モバイル向けデジタルニューススタンド「Float」を発表し、米 Apple のモバイルプラットフォーム「iOS」に対応したアプリケーションを公開した。

Apple のスマートフォン「iPhone」のユーザーは、ニュースコンテンツやブログ記事、Scribd で公開されている文書などを一カ所で閲覧および管理できるほか、Scribd や SNS サイトを通じてユーザー同士で情報を共有し、興味のあるコンテンツを発見できる。

- ◆ **【スマートフォンで社内LANへアクセス】BYOD製品が登場、企業に私物スマホの「解禁」迫る(7/21:日本経済新聞)**

<http://www.nikkei.com/tech/business/article/g=96958A9C93819499E3E7E2E1948DE3E7E2E5E0E2E3E2E2E2E2E2;p=9694E3EAE3E0E0E2E2EBE0E4E2E2>

従業員が個人で所有するスマートフォンやタブレット端末などの業務活用を促進する仕組みが登場した。ルーターや IP 電話システムなどを扱う総合通信機器メーカーの米シスコシステムズと、無線 LAN 機器大手の米アルバネットワークスが、2011 年 5 月下旬から 6 月下旬にかけ、新たな製品群を日本国内で発表したのである。

両社の製品群はいずれも、スマートフォンやタブレット端末などの無線通信機能(無線 LAN や携帯電話)を持つモバイルデバイスによる社内 LAN へのアクセスを、デバイスの種類やユーザー、利用場所などに応じて制御できるのが特徴だ。「BYOD(Bring Your Own Device)」と呼ぶ考え方に基づく製品群である。

2 社の BYOD 製品群に共通するのは、社内 LAN のアクセス権限(ポリシー)を管理するソフトウェアと通信機器が連携して、デバイスの種類やユーザーを特定している点だ。

- ◆ **【職場のPCをスマートフォンで遠隔操作】職場のパソコンをスマホで遠隔操作 丸紅系がシステム販売(7/18:日本経済新聞)**

<http://www.nikkei.com/tech/news/article/g=96958A9C889DE1E0E1EBE1EAE4E2E3E5E2E5E0E2E3E3869891E2E2E2;da=96958A88889DE2E0E2E5EAE5E5E2E3E7E3E0E0E2E2EBE2E2E2E2E2>

丸紅情報システムズ(東京・渋谷)は職場のパソコンをスマートフォン(高機能携帯電話=スマホ)で遠隔操作できるシステムの販売を 20 日に始める。自宅や移動途中などで仕事上の情報を見たり、文章を作成したりできる。こうした操作を自宅でパソコンからできるシステムはあるが、スマホも使えるのは珍しい。節電で拡大する在宅勤務向け需要を取り込み、初年度に3億円の売上高を見込む。

機密情報を多く扱い、職場のパソコンからのデータ持ち出しを制限することが多い金融業や官公庁などの利用を見込む。専用ソフトをインストールした職場のパソコンを、スマホの専用アプリケーションを使ってインターネット経由で遠隔操作する。

- ◆ **【ソフトバンク SIMフリー端末発売】**ソフトバンクもSIMフリー端末発売、1号機はZTE製スマホ(7/19: 日本経済新聞)

<http://www.nikkei.com/tech/business/article/g=96958A9C93819499E3EBE2E1E28DE3EBE2E5E0E2E3E3E2E2E2E2E2;p=9694E3EAE3E0E0E2E2EBE0E7EBEB>

ソフトバンクモバイルは 2011 年 7 月 19 日、Android 2.3 搭載のスマートフォン「シンプルスマートフォン 008Z」(中国 ZTE 製)を 8 月中旬以降に発売すると発表した。ソフトバンクモバイルが販売する端末としては初めて、端末の SIM ロック解除を可能としており、NTT ドコモや海外の W-CDMA 事業者など、ソフトバンクモバイル以外の通信事業者のネットワークに接続して利用できる。

販売時点では SIM ロックがかかった状態となっているが、ユーザーが購入後に所定の手続きを行うことで SIM ロックを解除できる。解除の手続きや費用などの詳細は現時点では明らかにされていない。「008Z の発売までに公表する」(ソフトバンクモバイル広報部)という。

- ◆ **【中国インターネット大手、音楽配信で音楽ソフト大手と提携】**百度、音楽配信でワーナーと提携 ソニー、ユニバーサルも(7/19: 日本経済新聞)

<http://www.nikkei.com/news/category/article/g=96958A9C9381959FE3EBE2E08A8DE3EBE2E5E0E2E3E3E2E2E2E2E2;at=DGXZZO0195590008122009000000>

中国インターネット検索大手の百度は 19 日、音楽配信業で米ワーナー・ミュージック、米ユニバーサル・ミュージック、ソニー・ミュージックエンタテインメントの音楽ソフト大手 3 社と提携したと発表した。著作権使用契約を結び、正規の楽曲ダウンロードサービスを展開する。

中国では著作権の使用許可を得ていない違法な音楽配信が横行し、中国当局も取り締まりを強化している。百度自身、今年 4 月に中国文化省から違法配信で処罰されており、今回の提携も違法状態の解消が狙い。

百度は自社の音楽配信サイト「百度ting」上で、3 社が保有する楽曲について新曲を含めて配信が可能になる。百度はユーザーによるダウンロード件数に応じて著作権使用料を支払う。使用料に関する詳細は明らかにしていない。百度tingは現在、無料で利用できるが、今後は一部有料にする方針だ。

- ◆ **【クラウドで音楽配信】**KDDI、クラウドで音楽配信 スマートフォン向けに新機軸(7/15: 日本経済新聞)

<http://www.nikkei.com/tech/personal/article/g=96958A9C93819499E3E6E2E0EB8DE3E6E2E5E0E2E3E3E2E2E2E2E2;p=9694E3EAE3E0E0E2E2EBE0E4E2E6>

スマートフォン向けコンテンツを強化しているKDDIが6月に、定額課金(サブスクリプション)モデルで利用できる音楽配信サービス「LISMO unlimited」を投入した。月額 1480 円でクラウドに蓄積された約 100 万曲の音楽が聴き放題になるのが魅力だ。先ごろ来日して話題を振りまいたレディ・ガガの新曲から懐かしいヒット曲まで、洋楽を中心に幅広い音楽をラインアップしている。

KDDIは、2010 年 12 月にコンテンツ配信プラットフォームを持つ台湾のKKBoxを傘下に収め、「着うたフル」などで音楽配信サービスの実績があるレコチョクをパートナーにして今回のサービスを始めた。

- ◆ **【新画像保管サービス】**富士フィルム、保存した画像データを定期的に DVD 化する「マイフォトボックス フォトプレミアムサービス」を開始(7/20: japaninternet)

<http://japan.internet.com/busnews/20110720/8.html>

<http://www.yomiuri.co.jp/net/news/internetcom/20110720-OYT8T00835.htm>

富士フィルムは、ユーザーの画像データを国内 2ヶ所のサーバーに保管し、保存された画像データを記録した DVD や「フォトブック」の作成クーポンを定期的に届ける、画像保管サービス「マイフォトボックス フォトプレミアムサービス」を 7 月 20 日に開始した。月額利用料金は 390 円からだが、9 月 30 日までにサービスに申し込んだ先着 1 万名に、10 月 31 日までの料金が無料になるオープニングキャンペーンを開始している。

このサービスは、画像データをインターネット上に保管できるというクラウドストレージサービスという側面に加え、その画像データを富士フィルムの多彩なプリント商品やサービスと組み合わせで活用できる新しいタイプの画像保管サービスとなっている。

- ◆ **【SaaS型文書管理サービス】**富士通、操作ログの記録が可能なSaaS型文書管理を30GB月額10万円で提供(7/21: マイコミジャーナル)

<http://journal.mycom.co.jp/news/2011/07/21/030/>

富士通と富士通中国システムズは、製造・流通業などのユーザーを中心に持つ文書管理システム「Documal」の SaaS 型サービス「Documal SaaS」の販売を開始した。費用は月額 10 万円(税別)から(別途、初期費用が必要)。

このサービスは、日本語のほか、英語・中国語に標準対応しているほか、オプションでカスタマイズできる「取引先情報共有テンプレート」、「品質管理テンプレート」、「マニュアル公開テンプレート」の 3 種類の業務テンプレート(各税別 30 万円)も用意されている。同社では、国内外の拠点間・取引先でドキュメントを共有し、作業の進捗情報や最新情報をグローバルに共有できるため、拠点間の連携を強化できるとしている。

- ◆ **【コラム 映像配信の脱テレビ化】**地デジ化後は「脱テレビ」、米放送局が歩んだ苦闘の道のり(7/21: 日本経済新聞)

<http://www.nikkei.com/tech/business/article/g=96958A9C93819499E3EAE2E3938DE3EAE2E5E0E2E3E3E2E2E2E2E2;p=9694E3EAE3E0E0E2E2EBE0E4E2E3>

米国の地上テレビ放送は 10 年以上の曲折の末、2009 年 6 月に地上デジタル放送(地デジ)へと移行した。移行後も米テレビ局は、広告の「長期低落傾向」に悩まされながら、急速に広がる「脱テレビ端末」への対応を迫られるなど苦闘を続けている。

今週末の 24 日に地デジ化する日本にも、数年後には同じような変化がやってくるかもしれない。その準備はもうできているのだろうか。

【出版・電子書籍】

◆ 【新タブレット端末】アイ・オー、7型液晶のAndroidタブレット発売(7/21:日本経済新聞)

<http://www.nikkei.com/tech/news/article/g=96958A9C93819499E0E2E2E0828DE0E2E2E5E0E2E3E3E2E2E2E2E2E2;da=96958A88889DE2E4E1E2E5E0E6E2E0E7E2E6E0E2E3E2E2E2E2E2E2E2E2>

アイ・オー・データ機器は2011年7月20日、OSにAndroid 2.2を搭載したタブレット端末「alimo IAT-PSR701」を8月上旬に発売すると発表した。価格はオープン。実勢価格は3万5000円前後の見込み。

一般的なスレート型のタブレット端末と同様に手持ちで使えるほか、きょう体背面に傾斜を付けており、置き台(クレードル)などを用意することなく本体単体で自立させることが可能である。

きょう体前面には32万画素の、背面には200万画素のカメラモジュールを備えており、前面のカメラはSkypeのビデオ通話機能で使用可能。また、同機能を応用した「見守り機能」を備えている。これは、前面カメラに映し出されている映像をSkypeを使って伝送し、遠隔地からSkypeのビデオ会議機能経由で自宅などに置いたalimoの映像を見られるというもの。「自宅にいるペットの様子などを確認するのに役立つ」(アイ・オー・データ機器)とする。

◆ 【電子書籍貸出サービス 試験的に開始】日本ユニシス、電子書籍貸出し 静岡の図書館と試行(7/21:日本経済新聞)

[http://www.nikkei.com/tech/news/article/g=96958A9C93819696E0E2E2E19B8DE0E2E2E5E0E2E3E38698E0E2E2E2E2E2;da=96958A88889DE2E0E2E5EAE5E5E2E3E7E3E0E0E2E2EBE2E2E2E2E2E2E2E2](http://www.nikkei.com/tech/news/article/g=96958A9C93819696E0E2E2E19B8DE0E2E2E5E0E2E3E38698E0E2E2E2E2;da=96958A88889DE2E0E2E5EAE5E5E2E3E7E3E0E0E2E2EBE2E2E2E2E2E2E2E2)

日本ユニシスは静岡県立中央図書館(静岡市)と組み、電子化した書籍をパソコンで閲覧できるサービスを22日から試験的に始める。ユニシスのクラウド型サービスを使い、まず静岡県内130の図書館や行政機関の職員を対象に始め、使い勝手の検証や運用面の課題を洗い出す。将来的な「電子図書館」の本格導入に備える。

今回、ユニシスはクラウド型の電子図書館サービスを無償提供。県内の公共図書館や行政機関など130カ所が対象で、IDを割り振られた職員がパソコンなどで電子化された書籍を読み、サービス上の問題点を検証する。一般向けには静岡県立中央図書館など6カ所に用意された約20台のパソコンでのみ閲覧が可能となる。

◆ 【電子書籍普及で米書店大手清算へ】米書店大手ボーダーズ清算へ 電子書籍普及で淘汰の波(7/19:日本経済新聞)

<http://www.nikkei.com/news/category/article/g=96958A9C9381959FE3EBE2E39B8DE3EBE2E5E0E2E3E39790E0E2E2E2;at=DGXZZO0195570008122009000000>

<http://ebook.itmedia.co.jp/ebook/articles/1107/19/news039.html>(eBookUser)

今年2月に米連邦破産法11条(日本の民事再生法に相当)の適用を申請した米書店チェーン2位のボーダーズ・グループが18日、全資産を清算する方針を決めた。再建の道を探ってきたが、売却先が見つからなかった。マイク・エドワーズ最高経営責任者(CEO)は従業員への手紙で21日に清算手続きに入る考えを伝えた。約1万700人の従業員は米メディアによると解雇される見通しだ。

破産法の適用申請後、最有力とみられていた投資会社への売却交渉が破談となり、19日にニューヨークの連邦破産裁判所で資産競売にかかる予定だったが、申請期限までに買収の名乗りが出ず、再建を断念した。破産裁判所が資産清算計画を承認すれば、清算会社に資産を売却し、9月末までに解体を終えるという。

5月には、米書店チェーン最大手のバーズ・アンド・ノーブル(B&N)に米メディア大手のリバティ・メディアが買収を提案した。電子書籍端末の普及で書店業界には淘汰の波が押し寄せている。

◆ **【BookWay 8月リニューアルオープン】自費出版サイト「BookWay」が総合電子書店に(7/20:ASC II.jp)**

<http://ascii.jp/elem/000/000/620/620959/>

小野高速印刷は7月19日、同社が運営する電子書籍出版・販売サイト「BookWay」を、出版社・印刷会社・学会・大学・専門学校などの企業・団体が自らの電子書店を開設できる総合書店として、8月上旬にリニューアルオープンすると発表した。

リニューアルオープンする「BookWay」では、従来の自費出版・個人出版を扱う「BookWay 出版」のほかに、「サンテレビ books」「マンガ専門書店」「流通本専門書店」「学会専門書店」などの特色ある電子書店を順次開設。現在、出店の受け付けを「BookWay」サイト内で実施している。

「BookWay」の特長は、各電子書店で書店内のアクセスランキング、新着本、おすすめ本、無料本、フリーペーパーが掲載でき、バナー広告3件とTwitterまたはブログへのリンク対応が可能。また、管理者権限として、書店のキャッチコピー、書店情報、新着情報の書き換えが自に行え、売り上げの日計、月計、年計のデータ閲覧やCSVでのダウンロードが行える。

◆ **【ソフトバンククリエイティブ 電子書籍ストアアプリ配信】ソフトバンク クリエイティブ、iPad向け電子書籍ストアアプリ「Books Lab HD」を配信(7/19:eBookUser)**

<http://ebook.itmedia.co.jp/ebook/articles/1107/19/news082.html>

ソフトバンク クリエイティブが7月19日、電子書籍を購入・閲覧できるiPad専用のストアアプリ「Books Lab HD」の配信を開始した。App Storeからダウンロードできる。

Books Lab HDは、ソフトバンク クリエイティブの電子書籍ストアアプリ第2弾。iPhone/iPod touch/iPad対応のユニバーサルアプリ「Book Village」がソフトバンク新書を中心に、同社刊行の文芸書や実用書、コミックなどを配信するのに対し、Books Lab HDでは判型の大きな理工書や雑誌、ムックなど、iPadで見やすい電子書籍を中心に配信する。

- ◆ **【三省堂 留萌に進出】三省堂、書店ゼロの留萌に進出 「子供に必要」地元が訴え(7/22:日本経済新聞)**

<http://www.nikkei.com/news/local/article/g=96958A9C93819491E0E3E2E2E48DE0E3E2E5E0E2E3E39EE6E3E2E2E2;n=9694E3E4E3E0E0E2E2EBE0E2E3E0>

三省堂書店(東京・千代田)は 21 日、書店空白地帯の留萌市に出店し、留萌振興局と地域活性化に向けた包括連携協定を結んだ。人口 30 万人を出店目安にしてきた三省堂にとって、3万人に満たない街への進出は極めて異例。調印の場で森雅夫専務は「子どもたちのために書店が必要と訴える地元の主婦らの熱意に打たれた」と語った。

- ◆ **【ソニー新電子書籍リーダー】ソニーの新電子書籍リーダー、8月にも登場(7/19:eBookUser)**

<http://ebook.itmedia.co.jp/ebook/articles/1107/19/news045.html>

<http://hon.jp/news/1.0/0/2572/> (hon.jp)

ソニーは来月をはじめにも電子書籍リーダーの既存製品ラインをアップグレードしようと計画している。それにより、最近、新デバイスを発表したライバルの Barnes & Noble、Kobo、Amazon.com と競争する計画だ。

「新しい Sony Reader は 180~300ドルの間で価格設定された2つのモデルとしてリリースされる。これらのモデルはハードウェアとソフトウェアがアップグレードされ、Wi-Fi を内蔵する。両モデルとも S1 および S2 タブレット販売前の 8 月に販売開始する予定だ」と Sony Electronics の電子書籍リーダー担当副社長、フィル・ルベル氏は話す。

- ◆ **【コラム】フォーカス:大日本印刷 電子書籍で“懸け橋”目指す(7/20:産経ビズ)**

<http://www.sankeibiz.jp/business/news/110720/bsg1107200502001-n1.htm>

スマートフォン(高機能携帯電話)の急速な普及やソニー、パナソニック、東芝など大手電機メーカーなどによる相次ぐ専用端末の製品化と配信サービスへの参入で、国内でも電子書籍市場が本格的に立ち上がり始めた。その中で存在感を増しているのが、10月に創業135周年を迎える大日本印刷だ。

- ◆ **【電子書籍でミリオンセラー】電子書籍でミリオンセラーに、米作家ロック氏の「成功の秘密」(7/21:日本経済新聞)**

<http://www.nikkei.com/tech/ssbiz/article/g=96958A9C93819696E3EBE2E0838DE3EBE2E5E0E2E3E3E2E2E2E2E2;p=9694E3EAE3E0E0E2E2EBE0E4E2EA>

米国では電子書籍の普及に伴い、自主出版の作家と有名なベストセラー作家が対等に肩を並べる時代が到来している。米アマゾンでは先月、自主出版のスリラー作家ジョン・ロックさんの電子書籍販売が 100 万部を超えたと発表した。ロックさんより前にミリオンセラーを達成したのは、スウェーデン人作家ステイーグ・ラーソン(「ドラゴン・タトゥーの女」などのミレニアム3部作で有名)や、米国屈指のミステリー作家ジェームズ・パターソンなど超有名作家7人のみ。無名作家ロックさんが出版社との契約なしで実現した快挙に、米出版界では作家の間で「出版社離れ」の動きが広がるのではないかと懸念まで出始めている。

◆ **【Kindle・テキストブック・レンタル開始】米アマゾン、大学教科書8割引きで貸与 電子書籍活用**(7/19:日本経済新聞)

<http://www.nikkei.com/news/category/article/g=96958A9C9381959CE3EBE2E0E68DE3EBE2E5E0E2E3E3E2E2E2E2E2;at=DGXZZO0195165008122009000000>

[http://ebook.itmedia.co.jp/ebook/articles/1107/19/news022.html\(eBookUser\)](http://ebook.itmedia.co.jp/ebook/articles/1107/19/news022.html(eBookUser))

<http://hon.jp/news/1.0/0/2575/>(hon.jp)

インターネット小売り最大手の米アマゾン・ドット・コムは 18 日、電子書籍の仕組みを使って大学で使う教科書を有償で貸与するサービスを同日から始めたと発表した。料金は紙の教科書の定価よりも最大で 80%安く設定する。米国の教科書は重く値段も張るため、レンタル方式で電子書籍を提供する利点が大いといっている。

同日から米国で、「Kindle・テキストブック・レンタル」を開始した。主要な教科書出版社が提供する数万冊をそろえ、利用者はレンタルの期間を 30～360 日に設定できる。借りた教科書は同社の電子書籍端末「Kindle」のほか、パソコン、アマゾンが提供するアプリを搭載したスマートフォン(高機能携帯電話)などで読める。

レンタル期間は当初設定した日数を過ぎた後も1日単位で延長できるほか、購入に切り替えることも可能。教科書にメモを書き込んだり下線を引いたりすることができる機能も備えた。こうした情報はアマゾンのデータセンターに保存し、レンタル期間の終了後も閲覧できるようにした。

◆ **【米国Adobe 英語版電子書籍リーダー公開】スクリーンリーダーで電子書籍が聴ける「Adobe Digital Editions 1.8 Preview」**(7/21:InternetWatch)

http://internet.watch.impress.co.jp/docs/news/20110721_462033.html

米 Adobe Systems は 20 日、メジャーなスクリーンリーダーに対応した「Adobe Digital Editions 1.8 Preview」を公開した。現在、Adobe Labs のページからダウンロードできる。

Windows 7/XP SP3 と Mac OS X 10.6 以上に対応している英語版だ。プレビュー版であるため試用目的で提供されており、業務など重要な環境で使用すべきではないと警告している。また、1.8 Preview 版は、1.7 正式版に含まれている機能の一部(注釈、印刷、電子書籍リーダーの USB 接続サポートなど)を備えていないことにも注意が必要だ。そのため、1.7 正式版に置き換わるものではない。

1.8 Preview 版に特徴的な機能は、スクリーンリーダーをサポートしたことで、Windows の JAWS と Mac の VoiceOver に対応している。視覚障害者向けのハイコントラスト機能も追加されている。

将来的には 1.8 にも 1.7 の機能が追加されていく予定だが、今回のプレビュー版公開はアクセシビリティ機能を追加することが目的だとしている。

電子書籍では、書籍がデジタルデータで提供されるため、ただ読むだけではなく、音声で読み上げるなどの新たな使用方法が考えられる。これは、これまで限られた点字版書籍やオーディオブックにしかアクセスできなかった視覚障害者が、膨大な一般書、専門書を読めるようになるという大きなメリットをもたらした。

- ◆ **【米Google ハリーポッター電子書籍版販売で提携】米Google、Harry PotterシリーズのWeb電子書籍版の販売で「Pottermore.com」とWeb API提携(7/21:hon.jp)**

<http://hon.jp/news/1.0/0/2583/>

Google 社(本社:米国カリフォルニア州)は現地時間 7 月 20 日、作家 JK Rowling 氏が自サイト Pottermore.com で 10 月から販売予定にしている Harry Potter シリーズの Web 電子書籍版にからみ、同社の電子書籍販売ストア「Google eBookstore」の API が採用されたことを発表した。

Harry Potter シリーズの電子書籍版は、1)Pottermore.com 上で販売される Web 電子書籍版と、2)米 Overdrive 社経由で Kindle・Nook 等の電子書籍端末向けに流通される電子書籍ファイル版の 2 種類の存在が明らかになっている。今回の提携は 1)に関するもので、決済システムとして Google Checkout を採用し、iOS/Android など Web ブラウザ搭載端末で閲覧可能になるとのこと。

- ◆ **【米Times 紙・電子版の総合購読方式開始】雑誌大手の米Time、紙・電子版の統合購読方式「All Access」の提供を開始、電子版の方を高額に(7/21:hon.jp)**

<http://hon.jp/news/1.0/0/2582/>

米雑誌出版大手の Time 社(本社:米国ニューヨーク州)は現地時間 7 月 20 日、新たな購読方式「All Access」を開始すると発表した。

購読方式のオプションは 3 種類。「All Access」は紙版、新たな有料雑誌サイト TIME.com へのアクセス、Apple iPad、HP Touchpad、Samsung Galaxy Tab へのダウンロードが可能なプランで、年間利用は 56 冊の紙版付きで 30ドル(約 2,400 円)。「All Access」を 1 か月だけ利用する場合は 2.99ドル/月(約 240 円)。一週間だけデジタル版のみを利用する場合は、4.99ドル/週(約 400 円)で、デジタル版のみの利用の方が高くなっている。

TIME.com のコンテンツは 95%が紙版とは別の独自コンテンツとのこと。同社はすでに今年 2 月 Sports Illustrated 誌で同様のプランを提供開始している。

- ◆ **【Google eBookstore用電子書籍リーダー】Google、電子書籍リーダーの競争に加わる(7/21:eBookUser)**

<http://ebook.itmedia.co.jp/ebook/articles/1107/21/news037.html>

広範な電子書籍配布の長年の支持者である Google は、もはや電子読書のサイドラインの外側に座っていることに満足しておらず、Google eBookstore と直接連動する電子書籍リーダーを発売するために iRiver と提携している。

このデバイスはユーザーに Google eBookstore から電子書籍を直接購入することを可能にし、スマートフォンやタブレットではなく電子書籍リーダーに直接電子書籍を読み込みさせることを可能にする初のデバイスで、Google eBookstore の 300 万冊以上の無料ダウンロード可能なタイトルと何十万冊もの購入可能なタイトルのカタログを利用できる。

iRiver の Story HD は EPUB に対応するデバイスであり、理論上、ユーザーは地元の図書館の電子書籍貸し出しの恩恵を完全に享受できるはずで、それは Kindle のユーザーがいまだに待望しており、OverDrive の最近の発表のおかげで近い将来起こるように望んでいることだ。

- ◆ **【中国Hanvonカラー電子ペーパーの電子書籍リーダー発表へ】**Hanvonが新技術を解き放つ(7/15:eBookUser)

<http://ebook.itmedia.co.jp/ebook/articles/1107/15/news006.html>

2011年1月にラスベガスで行われたCESで中国の電子書籍リーダーとタブレットのメーカー、漢王科技(Hanvon Technology)は、自社のカラー版E Inkリーダーを近日中にリリースすると発表した。

- ◆ **【韓国 電子教科書事情】**韓国、電子教科書の幅広い利用を主導(7/15:eBookUser)

<http://ebook.itmedia.co.jp/ebook/articles/1107/15/news005.html>

韓国はインターネット接続に関してほぼ間違いなく先進的な国の1つで、ほかの国々の7倍の帯域を持つブロードバンドのスピードを享受している。

最近の声明で、政府は2015年までに国内のすべての学年と教科で学校の教科書を電子化する計画を発表しているが、それはこうしたブロードバンドのスピードがあってはじめて可能となる。電子教科書はタブレットPCの使用により2008年ころから数百校の小学生に利用されており、今回の声明は長く待ち望まれていたものだといえる。同時期にほかの多くの国々では、電子書籍を読むことすら一般的ではないのだが。

【その他】

- ◆ **【お得情報】**インプレスR&D、電子書籍関係者向け電子雑誌「OnDeck」7月21日号を無料公開(7/21:hon.jp)

<http://hon.jp/news/1.0/0/2584/>

<http://on-deck.jp/> (ePub版・Kindle版ダウンロード)

【セミナー・イベント】

- ◆ **電子書籍関連セミナー**:ePubで実現する電子書籍ビジネス ～ePub電子書籍のユリカゴからハカバまで～

http://i-press.jpn.com/?page_id=160

日時: 2011年7月29日(金) 14:00～16:00(開場 13:40～)

会場: 新宿住友スカイルーム Room6 <http://www.bellesalle.co.jp/sankaku/room/access.html>

東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 47F

新宿住友スカイルーム 現地連絡先:03-3344-6983

入場料: 無料